

知る・学ぶ「福祉・介護・健康」 in新潟

人と人、世代をつなぐ地域共生社会の実現のために

実施報告書

2021年10月17日(日)
新潟ユニゾンプラザ

▶ 2021年11月23日(火・祝)
新潟日報メディアシップ



<主催>

新潟日报社 新潟県社会福祉協議会 新潟市社会福祉協議会

運営事務局:新潟日报社

実施概要

- 名 称 知る・学ぶ「福祉・介護・健康」in新潟
人と人、世代をつなぐ地域共生社会の実現のために
- 目 的 近年、少子高齢化がますます加速するなか、今後、福祉や介護・医療サービスを必要とする人々が増加することは明らかです。また、地域のつながりが希薄化している社会環境のなかで、人々が日々の生活に希望を持ち、支え合う心をもつことは重要なことです。
新型コロナウイルスの影響が長引く状況ではありますが、地域住民が共に支え合い、世代や分野を超えてつながることで住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創るため、福祉・介護・健康の情報を継続的に発信し、豊かな生活を送れる一助となることを目的に、万全に感染症対策を講じられる規模で事業展開いたしました。
- 日 時 2021年10月17日(日)、11月23日(火・祝)
- 会 場 新潟ユニゾンプラザ(新潟市中央区上所2丁目2-2)
新潟日報メディアシップ(新潟市中央区万代3丁目1-1)
- 参加対象 福祉・介護・健康に関心のある方、ならびに関係者／入場無料
- 主 催 新潟日报社 新潟県社会福祉協議会 新潟市社会福祉協議会
- 後 援 新潟県、新潟市、新潟県医師会、新潟市医師会、新潟県歯科医師会、新潟市歯科医師会、新潟県薬剤師会、新潟市薬剤師会、新潟県看護協会、新潟県栄養士会、日本赤十字社新潟県支部、新潟県老人福祉施設協議会、新潟県社会福祉士会、新潟県介護福祉士会、新潟県介護支援専門員協会、新潟県手をつなぐ育成会、市町村社会福祉協議会(長岡市・上越市・三条市・柏崎市・新発田市・小千谷市・加茂市・十日町市・見附市・村上市・燕市・糸魚川市・妙高市・五泉市・佐渡市・阿賀野市・魚沼市・南魚沼市・胎内市・聖籠町・田上町・阿賀町・出雲崎町・湯沢町・津南町・関川村・弥彦村・刈羽村・粟島浦村)
- 来場者数 新潟ユニゾンプラザ(10/17)・・・1,232人
新潟日報メディアシップ(11/23)・・・575人
※各事業ごとの参加者数は、次頁以降をご参照ください

<広報・PR>

◆新潟日報朝刊全5段カラー広告

<ユニゾンプラザ会場告知> ...①

8月27日(金)、9月18日(土)、9月23日(木・祝)、
9月28日(火)、10月16日(土)

<メディアシップ会場告知> ...②

11月11日(木)、11月14日(日)、11月18日(木)、
11月23日(火・祝)

◆新潟日報朝刊半5段カラー広告 ...③

<メディアシップ会場告知>

10月28日(木)、11月3日(水・祝)、11月4日(木)

◆新潟日報朝刊半5段モノクロ広告 ...④

「認知症サポーター養成講座」告知

10月3日(日)、10月6日(水)

◆フリーペーパーassh全4段カラー広告

<ユニゾンプラザ会場告知> 10月14日(木) ...⑤

<メディアシップ会場告知> 11月11日(木)

◆8頁別刷り特集 ...⑥

(新潟・長岡・上越3会場共通)

10月10日(日) ※主にユニゾンプラザ会場の内容

◆A4チラシ ...⑦

8月末～ ※ユニゾンプラザ会場告知のみ

◆特設Webサイト ...⑧

8月27日(金)～

<チラシ配布や広報依頼について>

- ・会報誌への封入依頼
(新潟県社会福祉士会1,200枚、新潟県手をつなぐ育成会代表団体200枚)
- ・会員大会でのチラシ配布依頼(老人クラブ連合会200枚)
- ・シニアカレッジ、研修センター、ユニゾンプラザ、県立図書館にチラシ配布依頼
- ・会員向けLINE広報での周知依頼
(福祉人材センター、新潟県母子寡婦福祉連合会)
- ・県内地区町村社協宛にメールによる情報送信、チラシ配布



⑥10月10日(日)付
8頁別刷り特集
(フロント・終面)



①8月27日(金)付



②11月23日(火・祝)付



③10月28日(木)付



④10月3日(日)付



⑤10月14日(木)号assh



⑦A4チラシ



⑧特設Webサイト



◆福祉の店 パレット周年祭／1階屋内イベント広場

<出展者一覧(敬称略)>

1階
あすなる福祉園
サポートセンター青りんご
きまま舎
スペースbe
あどばんす
福祉事業所ハーモニー
つくし工房新潟
陽廣園
ワークショップロード
自立生活支援センター新発田
大樹の家
地域活動支援センター オーブ

2階
ワークセンター寺泊 工房やひこ
福祉事業所いしやま
青山ファクトリー
ワークセンターふぁみりー
就労センター白山浦
ワークセンターふじみ
ほっとスペース

<ワークショップ・イベント>

- ◆「手打ち蕎麦」販売 / 提供: ほっとスペース
- ◆「葉野花実を使用した行灯(ランタン)」作り / 提供: あすなる福祉園
- ◆さをり織りで作るコースター / 提供: 自立生活支援センター新発田
- ◆世界で一本だけのオリジナルペットボトルを作ろう! / 協力: サントリービバレッジサービス(株)
- ◆にいたっちプロジェクト“地域みんなで育む こどもたちのみらい” / 提供: 新潟県社会福祉協議会



イベント内容

◆「介護の日」県民のつどい／2階 女性団体交流室2、県民サロン

内容	実施概要
認知症サポーター養成講座 (女性団体交流室2)	①10:30～、②13:30～の2回開催、事前申込制。 定員1回あたり30人、ほぼ定員どおりの約60人が参加。
福祉に関する展示・相談コーナー (県民サロン)	高齢者お悩み相談
	看護の就職、健康相談
	福祉の就職相談
	栄養に関する展示
	介護福祉士養成施設紹介展示



◆にいがたねりんピック写真展示、書籍・CD・グッズ販売／2階県民サロンほか



◆車イス展示コーナー・介護ロボット体験／1階屋内イベント広場、福祉機器展示室



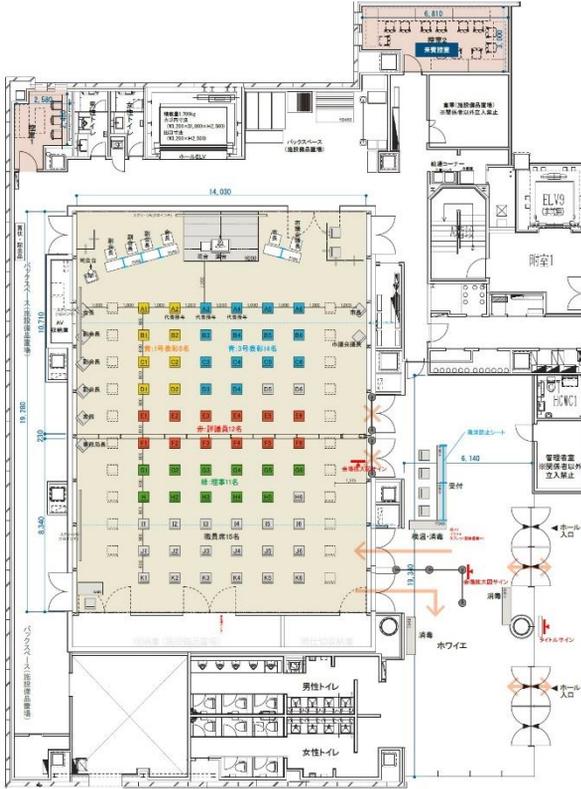
◆総合案内・アンケート回収・ガラポン抽選コーナー／1階東口付近



新潟日報メディアシップ 11月23日(火・祝) 来場者数 575人

◆令和3年度新潟市社会福祉協議会会員大会／2階日報ホール、10:00～11:30 ＜参加者数＞約100人 ※受賞者・関係者のみ

令和3年度社会福祉功労者表彰や協議会の活動内容を紹介し、理解を深めてもらう事業を開催。



◆「にいがた健活講座ティアップ事業」健康診断&人間ドック 上手な受け方・活かし方 ／2階日報ホール、14:00～15:10【協賛】新潟県労働衛生医学協会 ＜参加者数＞ 85人 ※事前申込制

病気の早期発見・早期治療に必要な健(検)診や人間ドックの上手な活かし方を学ぶトークショーを開催。

—出演者—

- 田代 茂美さん(新潟県労働衛生医学協会 医師)
- Negicco Kaedeさん(「にいがた健活講座」健康応援アンバサダー)
- ＜聞き手＞山本 献(新潟日报社「にいがた元気プラス」プロジェクトリーダー)

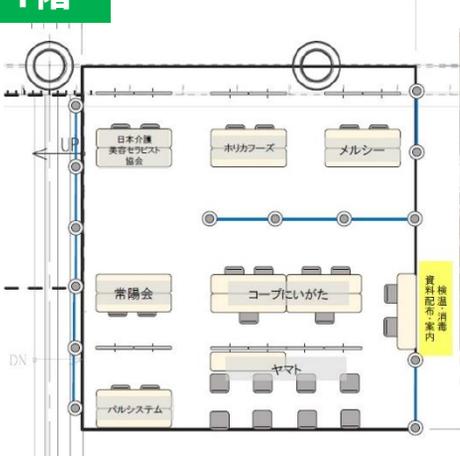


イベント内容

◆情報展示コーナー／1階みなと広場・20階そらの広場、10:00～16:00

<来場者数> 1階みなと広場 222人
20階そらの広場 168人

1階

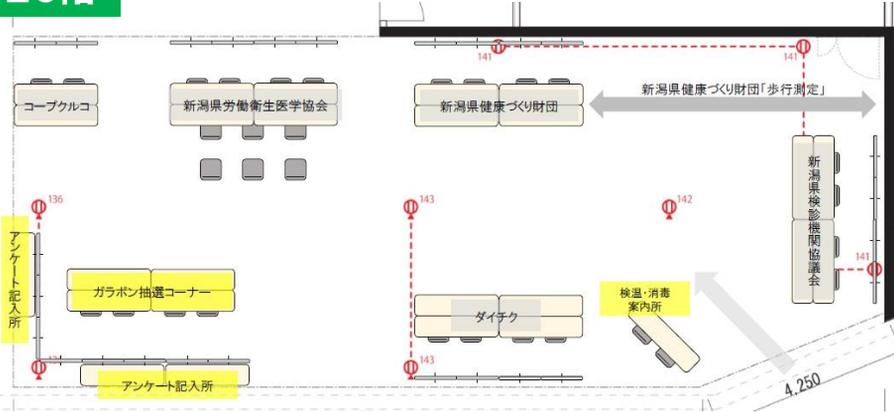


1階全景

<出展者一覧(敬称略)>

1階
(一社)日本介護美容セラピスト協会
ホリカフーズ(株)
(株)メルシー
(福)常陽会
生活協同組合コープにいがた
生活協同組合パルシステム新潟ときめき
(株)ヤマト
20階
(一社)新潟県労働衛生医学協会
(公財)新潟県健康づくり財団
新潟県検診機関協議会
(株)ダイテック
生活協同組合コープクルコ

20階



20階コーナー入口



1階出展ブース



20階出展ブース



20階ガラポン抽選コーナー

◆新潟県介護技術コンテスト動画放映・パネル展示 ／1階みなと広場マルチビジョン・大階段



11月6日(土)新潟ユニゾンプラザにて、無観客で開催されたコンテストの様子の動画放映(約15回)、パネル展示を実施。

新型コロナウイルス感染症対策

<来場者対応>

- 会場・出展エリアの入り口で、サーマルカメラによる検温を実施。アルコール消毒液による手指消毒、マスク着用を呼びかけ(感染症対策スタッフを常時配置)。



▲ユニゾンプラザ東口/検温



▲ユニゾンプラザ東口/検温と消毒



▲ユニゾンプラザ南口



▲メディアショップ1階みなと広場/コーナー入口に検温器・消毒液を設置



▲メディアショップ2階そらの広場/コーナー入口に検温器・消毒液を設置



▲メディアショップ日報ホール/アクリルパネルを設置し、出演者間でも対策

- 会場内各所でアルコール消毒液を設置。
- マスク不携帯の来場者用に事務局で予備マスクを用意。
- トークショー・講演会等は、事前申込制として席の間隔を空けて対応。

<対面で来場者対応を行う場所(受付、ブースなど)>

- 透明ビニールカーテンを各ブースに設置し、飛沫感染対策を実施。



▲ユニゾンプラザ/福祉の店バレット周年祭における飛沫感染対策



▲ユニゾンプラザ/総合案内における飛沫感染対策



▲メディアショップ/情報展示コーナーにおける飛沫感染対策

<スタッフの感染症対策>

- マスク着用、検温を実施。
- アルコール消毒液による手指消毒をこまめに実施。
- ボランティアを含めたスタッフの体調チェックシート記入(ユニゾンプラザ会場)。

10月18日付朝刊
ユニゾンプラザ会場取材編集記事



越乃リュウさん(右端)と遠藤麻理さんのトークショー。17日、新潟市中央区

新潟で福祉・介護・健康学が催し

苦しいときは笑おう

トークショー 越乃リュウさんら登壇

地域での支え合いや豊かな暮らしを考えるイベント「知る・学ぶ『福祉・介護・健康』in新潟」が17日、新潟市中央区の新潟ユニゾンプラザで開かれた。県内約20の福祉施設が菓子や手芸品を販売し、認知症サポート1ター養成講座や就職相談などを開催。同市出身の元タカラジェンヌ、越乃リュウさんらのトークショーもあった。

新潟日報社と県社会福祉協議会、新潟市社会福祉協議会が主催。約1300人が来場した。

トークショーは、越乃さんとフリーアナウンサーの遠藤麻理さんが「なるよう

になる！笑顔でいこう」をテーマに語り、約200人が耳を傾けた。

越乃さんは、宝塚の舞台を目指した高校時代のエピソードを披露。人前で歌ったり芝居したりするのは苦手だったとし「先生から雷を落とされて、悔しさがやる気につながった」と語った。会場から、落ち込んだ時の切り替え方を聞かれると、「友達とたわいもない会話をして笑う。笑うことが大事」と答えた。

福祉関係の仕事をしている新潟市中央区の庭山桂子さん(60)は「笑っている2人を見て、自然と笑顔になった」と話した。

定期的な健診 とってでも大切

新潟でイベント

地域での支え合いや豊かな暮らしを考えるイベント「知る・学ぶ『福祉・介護・健康』in新潟」が23日、新潟市中央区の新潟日報メディアシップで開かれた。健康診断の大切さについて学ぶトークショーには、約100人が訪れた。

新潟日報社と県社会福祉協議会、新潟市社会福祉協議会が主催。企業や団体が介護食などの関連製品を紹介したり、血管年齢や歩行姿勢を測定したりするコーナーも設けられた。

トークショーには、県労働衛生医学協会医師の田代茂美さんと、アイドルグループ「Negicco」のKaedeさ

さんが登壇。田代さんは、健康診断は自身の健康を年に1度意識するきっかけになると指摘し「異常がなくても、生活を振り返る機会は大切だ」と呼び掛けた。

新潟市中央区の無職伊藤裕一さん(介)は「健康診断の大切さを、町内の人たちにも伝えたい」と話した。

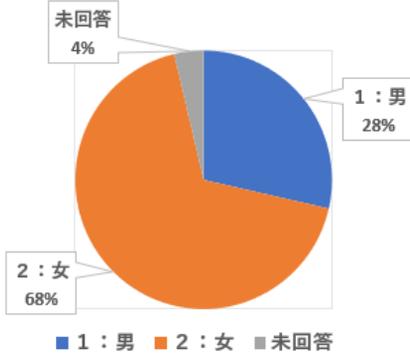


健康診断をテーマに開かれたトークショー＝23日、新潟市中央区

11月24日付朝刊
メディアシップ会場取材編集記事

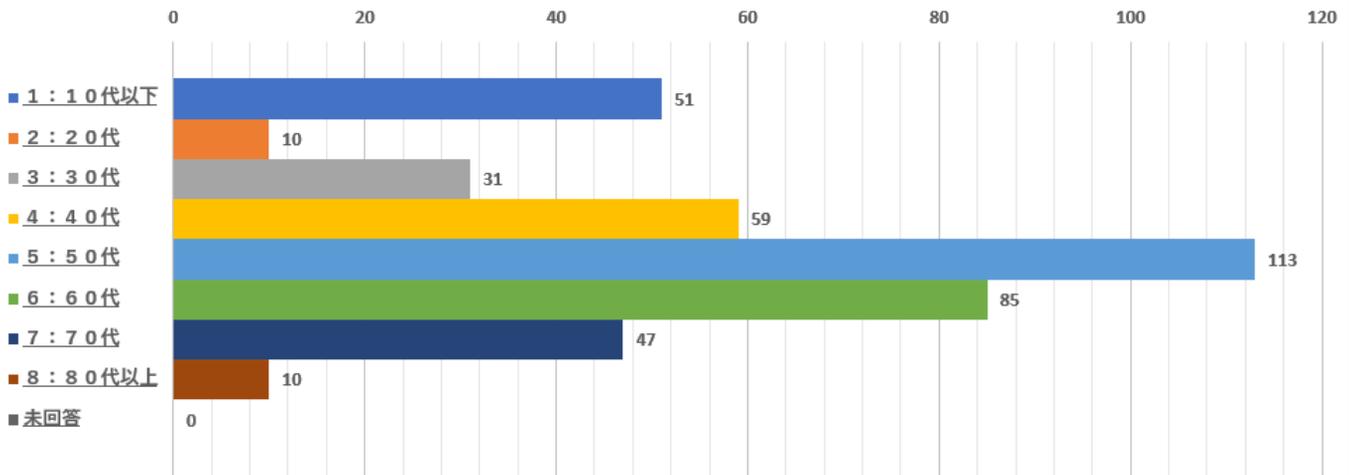
アンケート結果／ユニゾンプラザ会場 ①

1. 性別をお聞かせください。



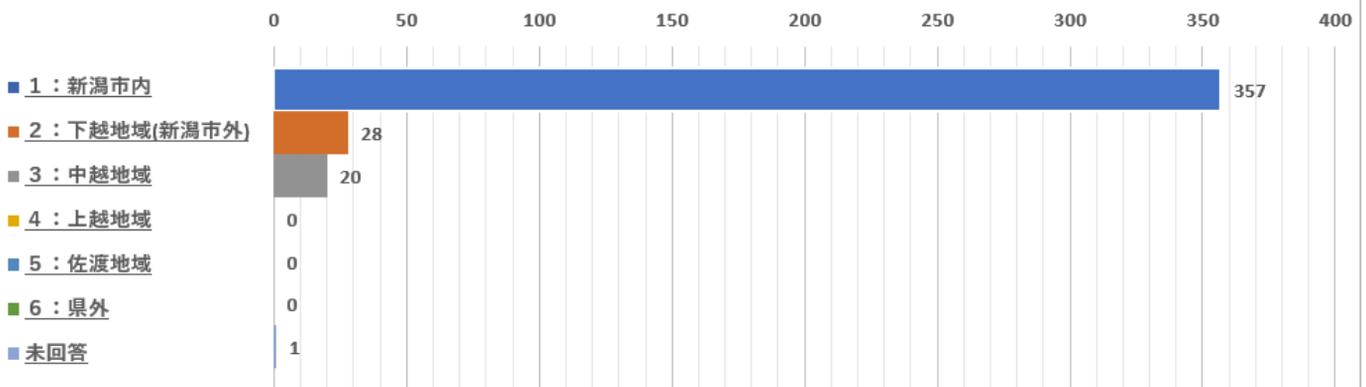
2. 年齢をお聞かせください。

総数：406、単位：人



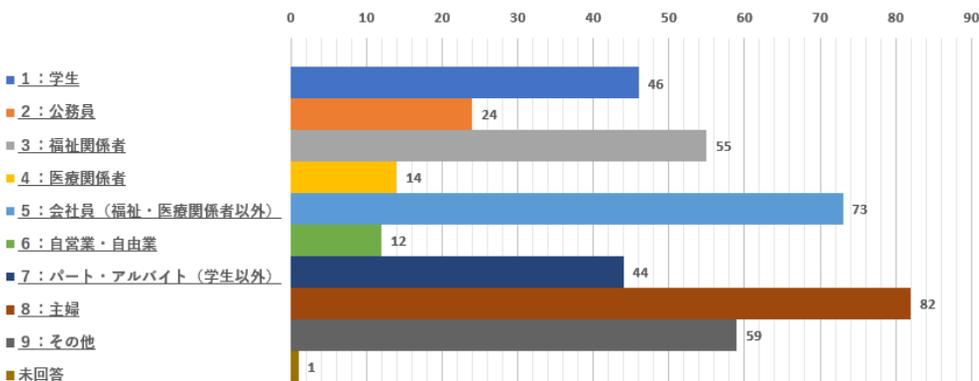
3. お住まいをお聞かせください。

総数：406、単位：人



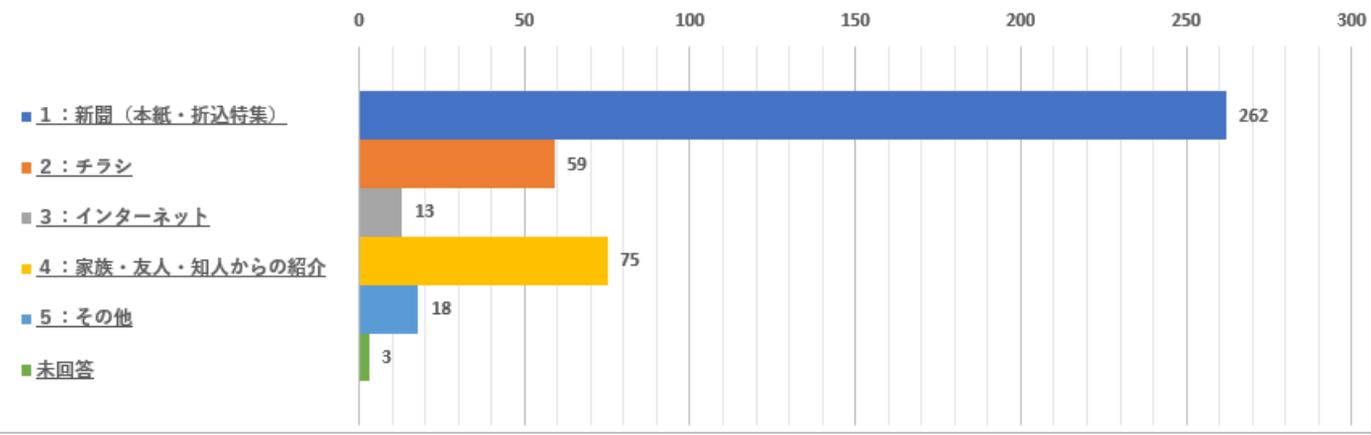
4. ご職業をお聞かせください。

単位：人



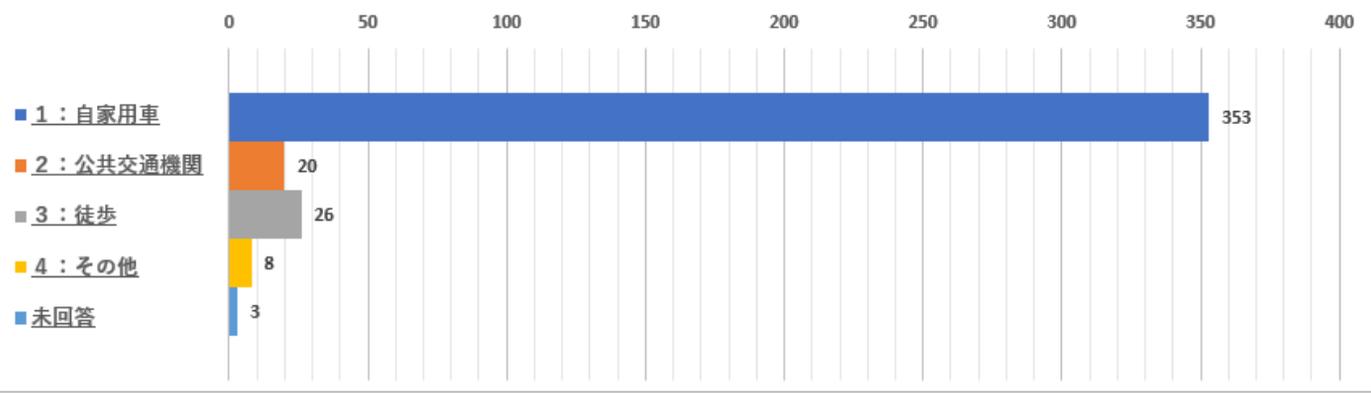
5. 本イベントを何で知りましたか（複数回答可）。

単位：人



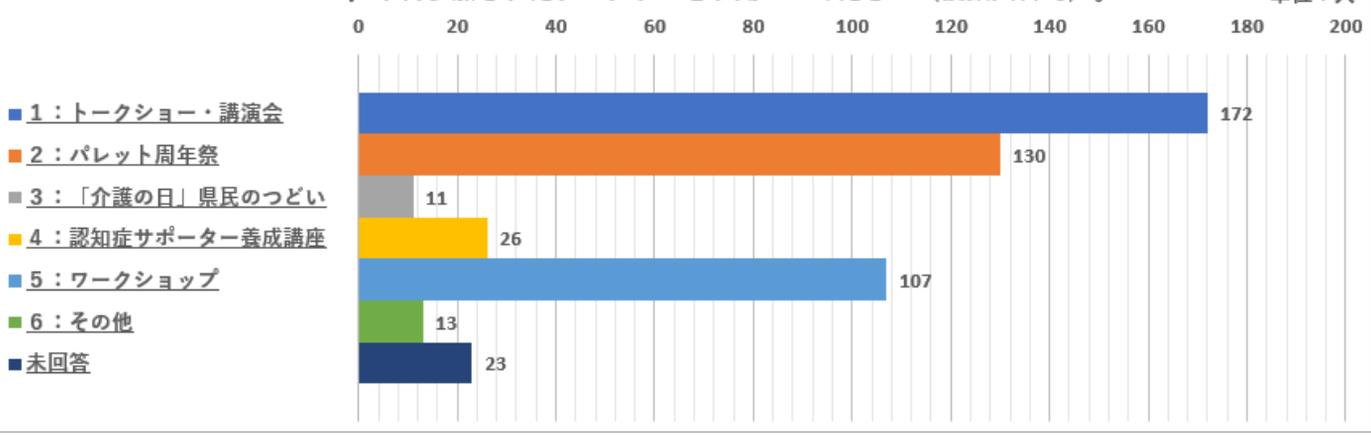
6. 会場までの交通手段をお聞かせください。

単位：人

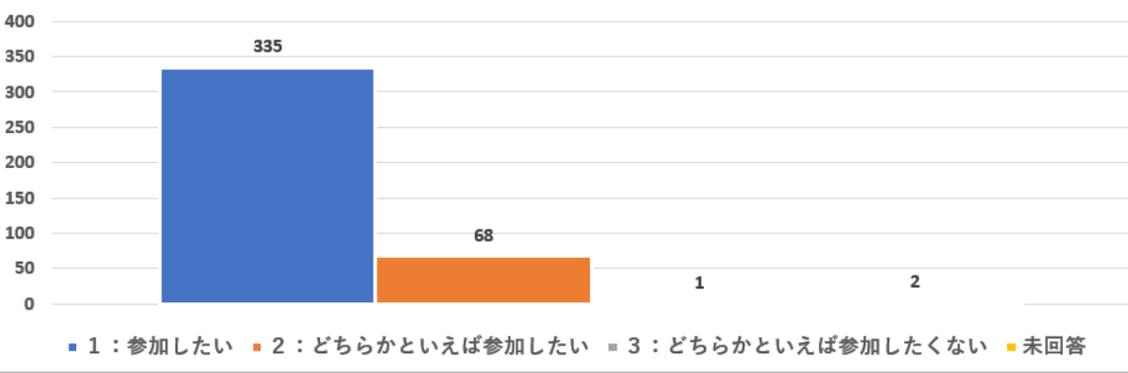


7. 本日参加されたプログラムをお聞かせください（複数回答可）。

単位：人

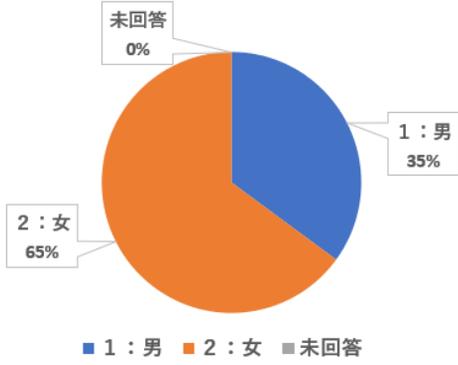


8. このようなイベントに、次回も参加したいと思いますか。



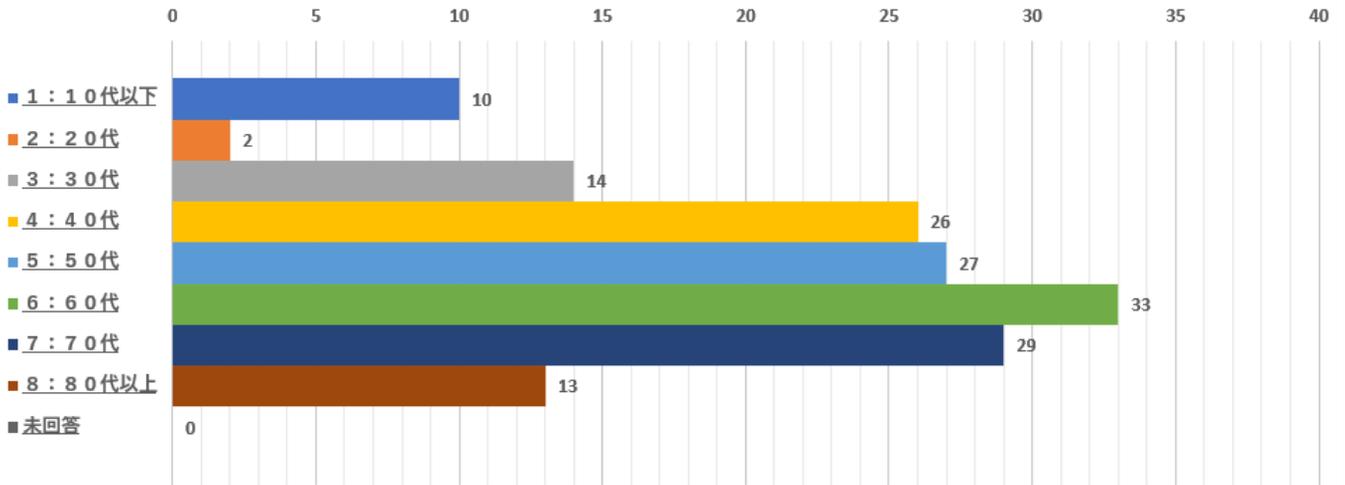
アンケート結果／メディアシップ会場 ①

1. 性別をお聞かせください。



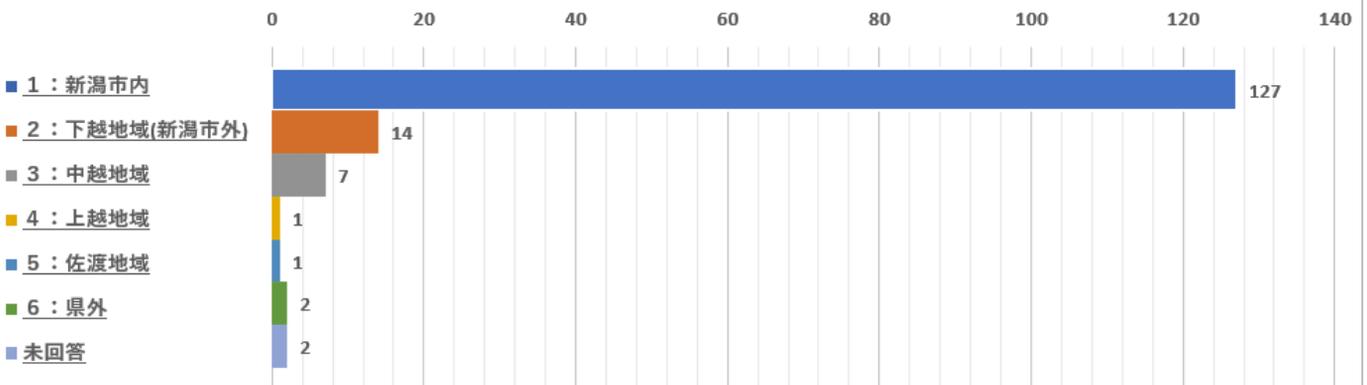
2. 年齢をお聞かせください。

総数：154、単位：人



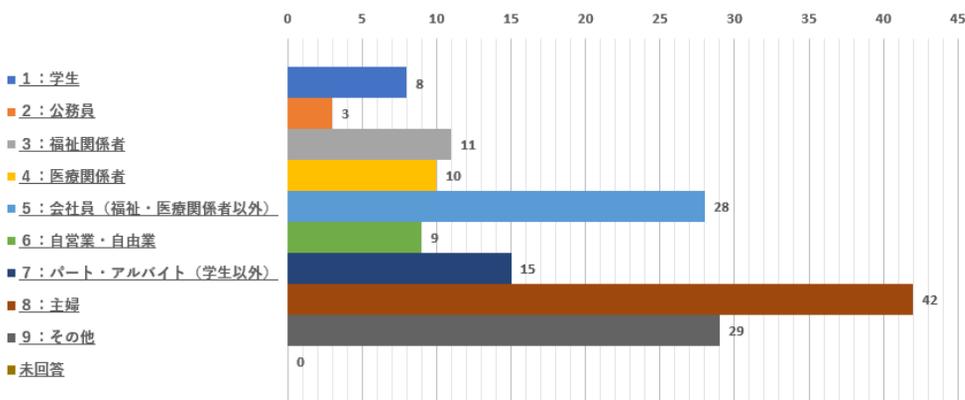
3. お住まいをお聞かせください。

総数：154、単位：人



4. ご職業をお聞かせください。

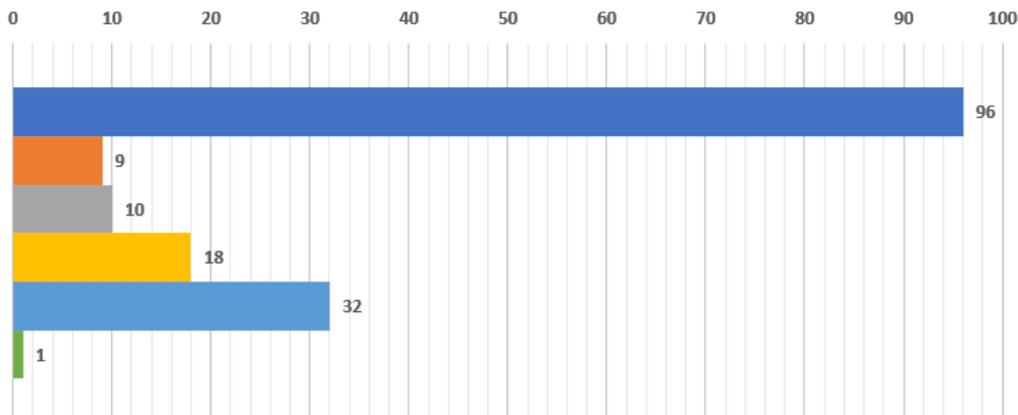
総数：154、単位：人



アンケート結果／メディアシップ会場 ②

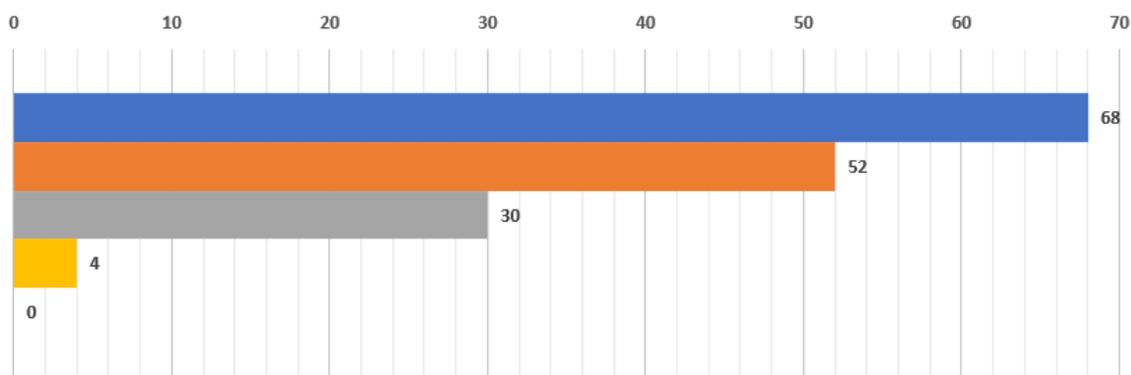
5. 本イベントを何で知りましたか（複数回答可）。

総数：154、単位：人



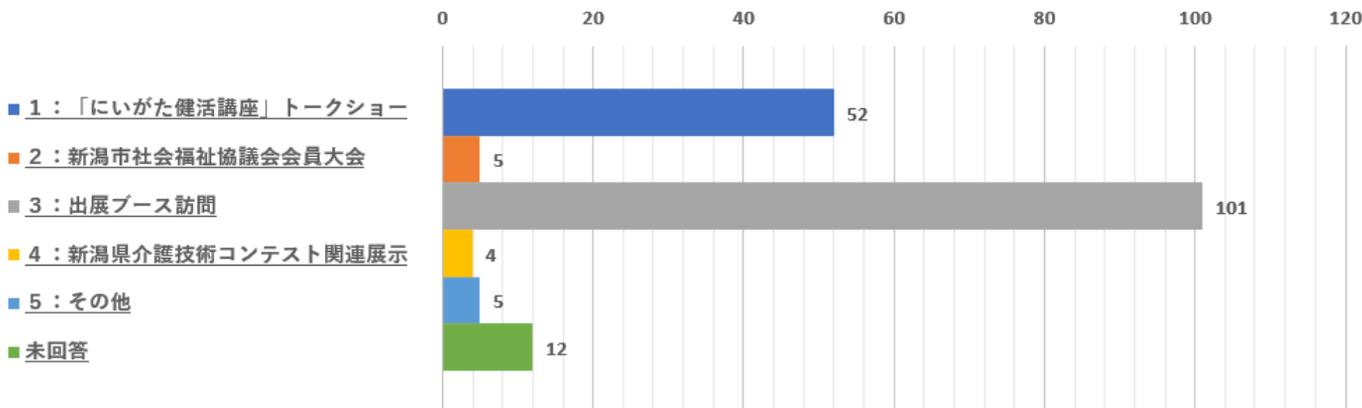
6. 会場までの交通手段をお聞かせください。

総数：154、単位：人



7. 本日参加されたプログラムをお聞かせください（複数回答可）。

総数：154、単位：人



8. このようなイベントに、次回も参加したいと思いますか。

